

## 国民からとても愛されている国 Denmark

デンマーク視察 ソルバング社会精神居住施設

松下典志

### ★利用者の隣に座って

ソルバング社会精神居住施設に視察に行きました。ソルバング社会精神居住施設には50名のスタッフに対し、33名の入居者が生活していました。

この施設はスタッフの入居者の見方が病気を見るではなく、一人の人間としてみているのが印象的でした。

リビングで利用者の隣に座って、楽しげに話し合う姿はまるで本当の家族のようでした。この施設の入所者は精神病や認知症などの病気があり、多くの入居者は合併症を伴っています。

その中での課題が『人生に対しての行き方の希望』+『様々な障害を伴う人の支援』です。その中でソルバングの職員に私たちから『判断力が落ちてきた、入居者から好ましくない要望（例えば、アルコール中毒の人がお酒を飲みたい。）があった時はどのような対応をしているか？』という質問がありました。

職員からの答は「その人の人生だからその人の生き方を禁止することができない。」だった。この答を聞いて「さすがはデンマークだな。」と思いました。日本だったらその人の行動を否定したり禁止することができない普通というのが現実ですが、デンマークはそのところが日本とは違うというのが印象的でした。

### ★国を愛し、人々を愛し

デンマークに行き、デンマークの国民の生活や文化、人々の顔付きを見ているとデンマークという国が国民からとても愛されていると感じました。

デンマークの障がい者や高齢者も日本人



とは違い、皆、笑顔に見えました。またデンマークの人々は国を愛し、人々を愛しているというのが高齢者施設や障がい者施設、保育園などを視察してよくわかりました。

それと同時に、人々からデンマークという国が愛されているということを感じました。

### ★日本が人を大切にすると呼ばれる日

私は日本という国を愛しています。しかし、私は日本から愛されていると感じることができません。日本とデンマークの違いはそこなのではないかな。と私は思います。

幼い頃から国から愛され、年を取っても国から愛される。そういう文化がデンマークの人を幸せにしているのだと思います。

それにつながり、良い福祉環境が生まれ幸福度がトップクラスの国と呼ばれているのだと私は考えました。

デンマークの福祉や文化を日本で行うこ



とは無理なことですが、人が人を愛し、人を人として見る事、そして、人を大切にする事は日本人でもできるはずです。

私は人を大切にしていこうと心から思いました。私が人を大切にしている姿をみて、少しでも多くの方が「私も大切にしよう」と思ってくれると良いなと思います。そして、日本が人を大切にする国と呼ばれる日が来ると良いなと思います。

### ★日本では味わえない感覚

1回だけの視察でははっきり言って、デンマークのすべてを知ることはできません。し

かし、私はデンマークにいる時間がとても幸せでした。

デンマークに行く前に中能さんが「毎日、私は朝が来るのが待ち遠しい。」とおっしゃっていました。視察前はこの言葉をそこまで意識していませんでしたが、デンマークに到着し、デンマークの雰囲気を感じているうちに、夜眠る前に「早く明日が来て欲しい。」と毎日思っていました。

日本では味わえない感覚でした。デンマークに行ったことで、日本での生活も少し変わり、今までやらなかったことにたくさんチャレンジしよう思いました。

日本に帰ってきた、今も毎日が充実しています。「朝が来るのが待ち遠しい。」と毎日がそういう気分です。デンマークに感謝の気持ちでいっぱいです。

「ありがとう、デンマーク！」

